

地域おこし協力隊

このページでは、地域おこし協力隊の活動をお伝えしていきます。
※道志村地域おこし協力隊とは、村が都市住民を受け入れ委嘱し、
隊員は、農林漁業の応援、住民の生活支援など、地域おこしを
指して活動していくものです。

のらしごと
やるべえくかあ！



「自 分たちの
食べる分
の野菜は自給した
い」という思いから、
大栗地区にある畑を
お借りして野菜づくりを始めました。

まず、生え始めていた草を抜きまし
た。思ったよりもしつかりと根を張つ
ていて、少々の苦労はありましたが、
気合いでなんとか除草を終えました。
野菜づくりは素人である私たちです
が、畑を通りかかる方にご指導いただ
いたりしていくつかの野菜を植え、最
初のころから比べると、ずいぶん畑ら
しい様相となりました。

これからの時期、草との闘いが待つ
ていますが、技術がない分を体力で
補っていきたいと思います。大栗の畑
を通りかかった際には、ぜひみなさん
にご指導いただければと思います。

行ってんべえ
お茶飲み会！

地

域の方々がたくさんお話しした
い！と思っていた矢先、村で
おこなわれているお茶飲み会に参加さ
せていただきました。午後のゆったり
とした時間。お茶をすすりながら、道
志村の今昔や出来事、畑仕事のことな
ど、たくさんのお話を聞きました。

びつくりしたのは、お茶とともに出
てくるたくさん料理やお茶菓子で
す。みんなおかあさんたちの手づくり
で、ワラビやフキのような旬のものか
ら、パンやようかんといったお菓子ま
で様々でした。私たちはお茶を飲むつ
もりがおいしさのあまり、ついつい食
べ過ぎてしまうのです。また会の後
半では、「歌カルタ大会」がはじまり
ました。みなさんで童謡を口ずさみな
がら、笑みがこぼれる会でした。久し
ぶりに聞いた童謡は、どこか小さい頃
の懐かしさを感じました。(中島拓哉)



左：神地のお茶のみ会（2013.5.15）、右：馬場のお茶のみ会（2013.5.19）

青 空の下、春の日差
しを浴びて畑で鍛
を動かしていると、嬉しさ
が込み上げてきます。

人生初の畑作業で、やるこ
となすこと、全てが新鮮。風
景としては見慣れている畑で
すが、綺麗な畑を作るために
どれだけの手間と愛情が費や
されているのか、じっくりか
みしめていきます。大栗ビツ
グマロンの正面にある畑なの
で、見かけたら気軽に声をか
けて下さい！

(大野航輔)

5 月13日、14日の二日間、
善之木コミュニケーションセ
ンター「いこい」で、チェー
ンソーの講習を受けました。

経験者のかたがたに混じって

の受講です。実技では、みなさ
んの軽々とした身のこなしや仕
事の見事さを前に、チェーン
ソーのおもしろさを感じまし
た。まだまだ未熟な自分ですが、
練習を重ねて、じっさいに役
にたてるようになって
いきたいと思えます。



(香西恵)

